慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート所長殿

**2024年度研究プロジェクト設置申請書**（□新規　□継続　□変更（　　　　　　　））案

|  |
| --- |
| 記入日：　　　年　　　月　　　日 |
| プロジェクト名 | (日本語) | **主な研究領域** |
| (English） | 長寿・安全・創造 |
| 研究代表者 | （氏名）　　　　　　　　　　 （所属） |
| （E-mail）　　　　　　　　　　　 (TEL) |
| 事務局担当者 | （氏名）　　　　　　　　　　　（所属） |
| （E-mail） (TEL) |
| 設　置　期　間 | 　　　　　　年　　　月　　　日　～　　　　　　年　　　月　　　日 |
|  資金計画 | 期間（年度） | 資金名称(企業名等) | 金額（円）（一般管理費　％） |
| 　　 年度 |  | 円 |
| 　 　年度 |  | 円 |
| 　年度 |  | 円 |
| 研究概要 |
|  |
| ※　以下の欄には記入しないでください |
| 事務受付　　：　　年　　月　　日運営会議承認：　　年　　月　　日本部会議報告：　　年　　月　　日 | 管理費 | 備考　： |
| スペース　他 |

**研究内容**　※最終頁にあるKGRI研究活動評価基準に沿って研究内容をご記入ください。

|  |
| --- |
| **K**eio spirits |
|  |
| **G**lobal and multidisciplinary approach |
|  |
| **R**esearch outcome |
|  |
| **I**nitiatives |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| KGRIウェブサイトへのプロジェクト情報掲載□　可　　□不可＊可の場合、ウェブサイト掲載用のプロジェクト情報を記入して下さい。（別紙による提出可） | （日本語で200字程度／English 500Word）＊記入時の文字サイズは小さくても問題ございません。＜日本語＞ |
| ＜英語＞ |
| 添付書類 | □　研究計画書　　□　契約書　　□　その他（　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 研究集会の計画（本研究プロジェクト主催のシンポジウム・研究プラットフォーム等） |
| 開催年月 | 内　容 | 公開・非公開 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 研究成果(予定)／研究成果(実績) |
| 年月(発行･発表) | 学術論文, 学会発表, Working Paper, 出版物等の計画等 | 備　考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 他機関との交流・連携（機関名・交流・連携の内容）・その他 |
|  |

|  |
| --- |
| 備考（研究スペース・設備・装置等の希望がある場合には記入してください） |
|  |

* 欄が足りない場合は、増やして記入してください。

**研究プロジェクトメンバー一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ氏　　　名 | 所属・職名 | プロジェクト／研究課題におけるテーマ・役割 | 備　考(職位付与他) |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※　職位付与を希望する場合は、希望する職位を「備考」欄に記入のうえ、「所員受入申請書」を提出してください。

* 記入欄が不足している場合には、本紙をコピーし、2枚目以降にご記入ください。

【利益相反マネジメント体制】

・プロジェクト設置にあたり、利益相反マネジメントの観点から、プロジェクトの活動における利益相反

について自己申告をお願いいたします。KGRI運営会議にてプロジェクト設置可否と併せて審議されます。

・プロジェクトの研究代表者はじめ、兼担所員個人の利益相反マネジメントについては、本務先の運用に

従ってください。

・KGRIで任用される特任教員・研究員の利益相反マネジメントについては任用時に人事審議と併せて審議

いたします。

本プロジェクトの活動にあたり、義塾外の団体等から何らかの便益を供与されている場合、もしくは供与が想定される場合等、ご自身の判断で利益相反状態にあると思われる事項について記載ください。

※国や独立行政法人から配分される競争的研究費の獲得は記載の対象外です。

**□　①自己申告すべき利益相反状態は存在しない。**

**□　②自己申告すべき利益相反状態が存在する。**

**↑いずれかを■としてください。②の場合は以下にその内容の記載をお願いします。**

記入例）

・プロジェクトの活動資金源を提供いただいている〇〇（企業名・団体名等）の役員となっている/〇〇の名目で

報酬を受け取っている。

・プロジェクトの活動と〇〇の関係がある〇〇（企業名・団体名等）からコンサルティング料を受け取っている。

**持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)への取り組み**

17のSDGsのうち、各プロジェクトがどの目標に合致した活動をしているかをWebサイトに

アイコンで表示いたします。参考サイトをご覧いただき、目標の右の取り組む欄に●印を入力してください。複数選択可能です。　　　参考サイト⇒ <http://ungcjn.org/sdgs/index.html>

|  |  |
| --- | --- |
| 目標 | 取り組む |
| 目標　１　　貧困をなくそう | 　 |
| 目標　２　　飢餓をゼロに | 　 |
| 目標　３　　すべての人々に保健と福祉を | 　 |
| 目標　４　　質の高い教育をみんなに | 　 |
| 目標　５　　ジェンダー平等を実現しよう | 　 |
| 目標　６　　安全な水とトイレを世界中に | 　 |
| 目標　７　　エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 　 |
| 目標　８　　働きがいも経済成長も | 　 |
| 目標　９　　産業と技術革新の基盤をつくろう | 　 |
| 目標１０　　人や国の不平等をなくそう | 　 |
| 目標１１　　住み続けられるまちづくりを | 　 |
| 目標１２　　つくる責任つかう責任 | 　 |
| 目標１３　　気候変動に具体的な対策を | 　 |
| 目標１４　　海の豊かさを守ろう | 　 |
| 目標１５　　陸の豊かさも守ろう | 　 |
| 目標１６　　平和と公正をすべての人に | 　 |
| 目標１７　　パートナーシップで目標を達成しよう | 　 |

**KGRI研究活動評価基準**

1．内部資金にかかるプロジェクト（基軸プロジェクトなど）

|  |  |
| --- | --- |
| **評価項目** | **評価内容** |
| **K**eio spirits | 慶應義塾の理念・精神に合致する研究活動であるか。 |
| **G**lobal and multidisciplinary approach | 世界に開かれたグローバルな研究活動であり、かつ学際的アプローチが採られているか。 |
| **R**esearch outcome | 以下の4項目にかかる明確なアウトカム目標があるか、そのアウトカム目標を十分に達成したか。1）*KGRI mission*への貢献－持続可能な開発目標（国連SDGs）に対する取組み－次代を担う研究者の育成2）*KGRI reputation*への貢献－プレスリリースや国際会議開催、新たな人間交流3）*KGRI publication*への貢献－国際的文献データベース※に収載される文献4）*KGRI globalization*への貢献－国際共同研究や外国人研究者・学生の参画 |
| **I**nitiatives | 先導性のある研究活動であるか。 |

※Elsevier社Scopusなど

2．外部資金にかかるプロジェクト（共同研究・受託研究など）

|  |  |
| --- | --- |
| **評価項目** | **評価内容** |
| **K**eio spirits | 慶應義塾の理念・精神に合致する研究活動であるか。 |
| **G**lobal and multidisciplinary approach | 世界に開かれたグローバルな研究活動であり、かつ学際的アプローチが採られているか。 |
| **R**esearch outcome | 研究活動に明確なアウトカム目標があるか、そのアウトカム目標を十分に達成したか。 |
| **I**nitiatives | 先導性のある研究活動であるか。 |

3．付帯事項（内部資金・外部資金共通）

所長が必要と認めた場合は有識者による外部審査を実施する。